

「高砂市民病院の現状と今後の運営について」(要旨)

(高砂市民病院 ～希望のある医療～ ・ 高砂市民病院のチーム活動 “地域と共に”)

地域における高砂市民病院の役割と特徴をまとめています。

地域包括ケアシステムを構築していくために病院機能を提供します。

地域との連携を強化し、思いを尊重した看護で支援させていただきます。

認定看護師を中心にチーム活動を多職種と共に地域につなげる活動をしています。

(高砂市民病院 看護局の紹介)

看護局は、「地域と共に 看護の力を つなげよう」をスローガンに看護実践をしています。市民病院の活動を支えて頂いているのが、約60名のボランティア活動です。外来案内・タオルローリング・縫製・グリーン・帽子・緩和ボランティアと多岐にわたるご支援をいつも明るく活動して頂き感謝の言葉しかありません。

令和元年度から病院併設型の訪問看護ステーションを開設しています。経験豊富な看護師が利用者様に寄り添い、温かい心の看護に努めています。病院併設の強みを活かし在宅でも安心した生活が過ごして頂けるように心がけています。

外来の待ち時間を活用し、毎月「ホッとひと息寄り道講座」を玄関ホールで開催しています。病気に関する内容だけでなく、司法書士による「終活について」、高砂消防による「救急車を呼ぶ前に」、高砂警察による「オレオレ詐欺に気をつけよう」など、生活に役立てて頂ける内容となっています。

高齢者の入院患者様が増えており、院内デイケア「スマイル」を毎月開催しています。限られた時間ですが、生活感を大切にしたいひとときを過ごして頂けるよう担当看護師が企画運営をしております。

現在は、コロナの関係で自粛していますが、例年は地域活動を積極的に行っています。兵庫県看護協会と連携した「まちの保健室：アスパ高砂」、「ちょっと寄り道出前講座」、「高砂市役所での看護相談」、市民イベントや学校行事への救護班、市内の老健施設への講師派遣(感染対策・生活援助)など、経験豊富な看護師が地域のニーズに対応した実践活動を展開させて頂いています。

緩和ケア病棟を2013年に開設し、短期入院や在宅への支援も含め、その人らしい時間を過ごして頂けるようにチームで支援しています。

がんの痛みやご家族も含めた気持ちのつらさを緩和できる看護に努めています。家庭的

な仕様の談話室、調理が出来るキッチン。特に、一般病棟では出来ないきめ細やかなサービスが、栄養課協力提供の「緩和ケア食」です。

緩和ケア病棟はすべて個室で、有料個室は最後まで自分でトイレ排泄できる設備構造です。寝たまま入浴できる特浴室には酸素や吸引設備を完備しています。一般病棟では考えられませんが、酸素吸入をしたままでも入浴出来ます。実際に入浴介助中にお亡くなりになられた方もありましたが、「お父さん、好きなお風呂に入りながら逝けて良かったね。」と奥様が声をかけられた事が忘れられません。

また、屋上庭園は県立農業高校の協力で1年中花に囲まれ、市内が一望できる素晴らしい環境も緩和ケア病棟の強みです。